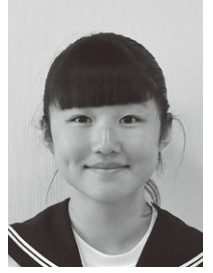


優秀賞

ずっと笑顔でいるために



つがる市立森田中学校 3年 川村 萌花

皆さんはほんの軽い気持ちで相手の嫌がることを言ってみたり、行動に移したりしていませんか。相手の心を粗末にしていますか。私がもしこの質問をされたら、素直に「はい」と答えます。

それは5年前の出来事です。友達と他愛もない会話をしていた時、何も考えずに口から出た言葉。「お前ってマジきもいよな。」

本当に軽い気持ちでした。友達の顔は一瞬で曇りました。やばいと思ったけど、その時は謝りませんでした。その後も一緒に遊んだし、私は特に何も感じていませんでした。

次の日の朝、学校に行くと別の友達が話しかけてきました。

「昨日おめさ言われた事、引きずってるらしいよ。」

驚いた私はすぐさま友達の所へ行き、

「昨日は本当にごめん。」

と謝りました。でも友達は笑顔で、

「何のこと？」

と言って許してくれました。

この出来事は私の心に深い傷を残しました。自分の言った言葉のせいで嫌われたかもしれない。友達をなくすかもしれないと、怖かったのです。

あの時笑顔だったけど、本当に傷ついていた友達。その心に気がつけなくて、後悔でいっぱいでした。申し訳ない気持ちと言葉の重みを感じました。

友達はもう、忘れていくかもしれません。でも、私は今でも悔やんでいます。5年も前の出来事なのに、自分の気持ちも相手の表情も、はっきりと覚えています。もしかしたら今でも傷ついているのではないかと思う時もあります。

私はこの時から、自分の言葉を慎重に考えるようになりました。何も考えずに口から出た言葉で、友達を深く傷つけたくはありません。相手の心を思いやって、言葉を選ぶようになり、友達との関係も前よりずっと良くなりました。

皆さんは相手の「心」について考えてみたことはありますか。人の心の強さはそれぞれで、強い人もいれば、すぐに傷ついてしまう人もいます。もしかしたら、あなたの何気ない言葉や行動で、友達を悲しませたり、苦しませているかもしれません。

大事な人を傷つけたことは、私自身の心の大きな傷となりました。でもその心を救ってくれたのは、友達の何気ない一言でした。

「ずっと友達だから。」

休み時間に何気なく言われた言葉。5年前の出来事を引きずっている私には、涙が出るほど嬉しかったです。

私は友達を絶対に失いたくはありません。自分の心も、相手の心も大切にしていきたいです。もう二度と後悔しないように。